

交流センターだより

平成 22 年 11 月 15 日発行

第 2 号

発行元：鶴いこいの里交流センター

協力：鶴里コミュニティ協議会 八代地区社会福祉協議会

連絡先：0833 - 92 - 0003

八代地区自治会連合会

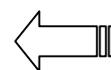
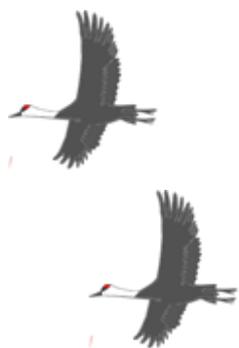
行事報告



↑ 教育キャンプ (7月24日～25日) ↑



↑ 八代地区 THE 夏まつり (8月15日) ↑



敬老会

(9月25日)



八代地区秋季大運動会 (9月26日)

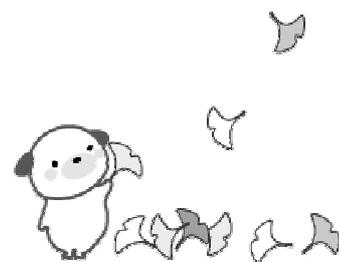


家庭教育学級「食育講座」(10月6日)



梅と桜の森公園整備

(10月9日)



皆さんお疲れ様でした。

鶴里コミュニティ協議会

「いのち育む里づくり」の取り組みについて

少子高齢化が進行する八代は将来に不安を抱く課題も多く、市の施策である〔中山間地域の活性化を支援するプロジェクト〕に当然取り組まなければならない、今ならどうにかなるのでは？半ば使命感にも似た想いで今年度の臨時総会に図り、皆さんの賛同を得て「いのち育む里づくり」がスタートしました。

課題を7項目「八代の医療を考える・福祉サービスを考える・交通移動手段を考える・特産品を開発する・若者定住を促進する・八代小学校存続対策・八代マーケット運営」に絞り、それぞれの部会を立ち上げ役員さんを選出していただき、会を重ねてまいりました。

ワークショップによる八代の（悩み・困っていること・自慢できるもの・夢・こうしたら良くなるのでは等・・・）いろいろな意見が沢山出ました。これからは実現できるもの、できないもの、今すぐできるもの、将来課題として残るものに仕分けていかなければなりません。

又、地域の皆様方にアンケート等を実施し、より多くの意見集約を図りたいと思います。その節はご協力をお願いします。住民八百三十名の夢プロジェクトができるのを目標にしています。

「八代に住んで良かった」誰もがそう実感できるような里になるといい。そのためにも永遠のテーマである〔ツルと人・共生の里〕づくりに参加し、共に汗を流しましょう。課題解決に向けて頑張りましょう。

鶴里コミュニティ協議会
会長 西田 孝美

いのち育む里づくり「八代小学校存続対策協議会」

～八代小学校存続対策協議会より現況報告～

八代小学校統廃合について

小規模校の統廃合計画の中に八代小学校も含まれ、昨年周南市教育委員会が交流センターにて地域説明会を開催しました。いろいろな意見がありましたが、結論としては現状のまま残して欲しいとの意見が強く、後日在校生の保護者、未就学児童の保護者の意見を取りまとめ、周南市教育委員会へ文書を提出しました。この計画自体は他の対象校もありますので撤回されることはありませんが、地域

と保護者の想いは十分に理解していただいたものと受け止めています。

八代小学校を含め、地域の環境は決して楽観視できるものではありません。若者の定住を促進する会と共に今後の地域の衰退を止めるべく、いろいろな手段を検討していかなければならないと思っています。この件の現況報告と共に、地域の皆様にいろいろな角度からの御支援・御協力を呼びかけたいと思います。

八代小学校存続対策協議会
(八代小学校PTA会長)

寺本 宣弘



交流センター人事異動のお知らせ

よろしくお願ひします。



徳原 常臣
(競艇事業課より)

11月1日より鶴いこいの里交流センターへ参りました。今回が初めての支所・公民館業務で慣れるまでは皆様にご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、いろいろとご指導いただきますようお願いいたします。

まずは11月28日に「くまげ鶴の里ウォーク大会・観光収穫祭」という大きなイベントを控えておりますので、開催に向けて頑張っていきたいと思っています。

お世話になりました。



矢野 善信
(鹿野総合支所産業土木課へ)

この度、11月1日より鹿野総合支所産業土木課に異動になりました。皆様方には、ご迷惑ばかり掛けてしまった1年目が終わり、これからご恩返しを・・・との時に、今回の異動。大変残念でなりません。短い間ではございましたが、私にとって、この八代で過ごせた1年半は、役所人生の中でも、凄く心に残る時間を与えていただいた気がします。大変お世話になりました。ありがとうございました。